

## 論文審査委員会 2025 結果および 2026 計画・組織

2026 組織 計 5 名 \* 順不同・敬称略

メンバー	氏名	理事/ 会員	所属
委員長	内海 里香	理事	文化ファッション大学院大学
事務長	山岡 真理	会員	文化ファッション大学院大学
委員	富澤 修身	会員	大阪公立大学
委員	荒川 京子	会員	文化ファッション大学院大学
Web 相談役	安田 和史	理事	(株)スズキアソシエーツ/法政大学

### 活動報告

目標	学会活性化の一環として 2023 年度からスタートした論文のデジタル化によって、論文投稿の促進とコストの削減および作業効率の向上を一層推進していく。
2025 結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル版 2025 年度 vol. 31 号の発行に向けた査読・編集作業を進めた。</li> <li>*投稿数は、論文 7 報(募集締切時)であった。査読の結果、論文 3 報、研究ノート 1 報(「論文」→「研究ノート」に変更)、取下げが 3 報となった。</li> <li>・委員会活動について、以下の内容の見直しを行い実施した。</li> <li>*査読期間確保に伴い、2023 年度より投稿原稿提出締切日を 8 月末日としているが、査読期間内の提出遅れもあり、進行が難しいこともあった。</li> <li>*査読審査に伴う検討が必要な案件(研究倫理に対する理解が乏しいと思われる高校生の入会・論文投稿)が発生し、事務局に相談したところ、学生会員に関する学会規程の見直し・改善につなげることが出来た。</li> <li>*査読者の確保の問題 査読を依頼した論文 6 報のうち、依頼した査読者から査読を断られた件数は 6 件。査読可能な学生会員の少なさもあり、特定の学生会員に査読が集中してしまう場合もある。</li> <li>*全般的に、査読の質の向上は見られた。</li> <li>*学生会員に向けた「研究論文の書き方セミナー」にて、講義・指導を行った。</li> </ul>
2026 計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>Vol. 32 の発行に向けて、引き続き改善点を挙げ、見直しを行う。</li> <li>*投稿者・査読者の継続的確保(質・量とも)に向け、学会及び当委員会の認知度向上。</li> <li>*特定テーマで、公募論文(表彰・懸賞金付き)の企画検討。</li> <li>*投稿原稿作成時における生成 AI 利用に関する学会方針について検討。</li> </ul>